

日清製粉グループ 品質保証方針

日清製粉グループは1900年の創業以来、社会から信頼される会社を目指し、「信を万事の本と為す」、「時代への適合」を社是とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」ことを企業理念として企業活動を行ってきました。さらに2002年に制定した「企業行動規範及び社員行動指針」の中で、「安心・安全で高品質な製品・サービスの開発と提供」を掲げ、関連法規などを遵守するとともに、消費者の視点からの品質保証を第一とした品質保証体制を構築しています。

「今、あなたが行っている仕事を、消費者の皆様にもきちんと説明できますか」を合言葉に、社員一人ひとりが、「消費者視点の品質保証」を実施していきます。

1. 日清製粉グループの品質保証を

「製造等の各段階における全ての事柄について安全であり、安心して貰えることを消費者に明確に説明できること」と定義します。

2. 原材料の安全性確保から、開発、生産、販売、および流通、保管など消費者に届くまでのサプライチェーンにおいて、法令を遵守し、製商品の安全性を保証する体制を構築します。

3. 常に消費者視点の品質保証を実践し、お客様に安心していただける、安全で高品質の製商品を安定的に提供します。

4. 国際的なマネジメントシステム規格の認証を取得・運用することで、日清製粉グループの品質保証体制^(※)の継続的な強化を図ります。

※日清製粉グループの品質保証体制

1. 独立した品質保証体制
品質保証をより効果的、かつ組織的に行うため、生産部署から独立した品質保証部署が、品質保証業務を統括しています。
2. 品質保証責任者制度
各製造工場には、生産部門から独立した「品質保証責任者（QA）」が駐在し、消費者視点で原材料から製品の品質及び行為の是非を判断し、最終出荷判定を行っています。
3. 原材料・製品・景品等の安全性の評価、審査
各事業会社で専門知識を持つ担当者による「セイフティレビュー」を実施し、新規および既存の原材料、製品、景品等の安全性を評価しています。また、グループ本社のQEセンターで安全性の審査を行っています。
4. トレーサビリティの確保
製造等の各段階で記録管理を行い、トレーサビリティを確保しています。
5. フードディフェンス
「日清製粉グループ・フードディフェンスガイドライン」を定め、製品への意図的な汚染に対して備えています。
6. 品質保証研修
全ての従業員を対象に品質保証研修を実施し、従業員の製品安全意識の向上を図り、「消費者視点の品質保証」の理解・浸透・定着を図っています。
7. 品質保証監査、製造環境モニタリング
全ての製造工場、倉庫を対象として「品質保証監査（NQ監査）」を実施し、品質保証体制の維持・向上を図っています。また、製造環境モニタリングにより、施設の衛生管理状況を確認しています。
8. 重要品質事故発生時の対応
重要な品質事故が発生した場合には、従業員は速やかに経営トップまで報告を上げ、経営トップは直ちに重要品質事故対策本部を設置し、適切かつ速やかに対処しています。
9. お客様の声を活かす仕組み
お客様相談室に寄せられる製品へのご意見やご要望を、品質保証、開発、生産などのメンバーでレビューし、製品の改善や新製品の開発に繋げています。
10. 国際的なマネジメントシステムの活用
国際的なマネジメントシステムの認証を取得、維持することで継続的な改善を行い、製品安全体制の強化を図っています。